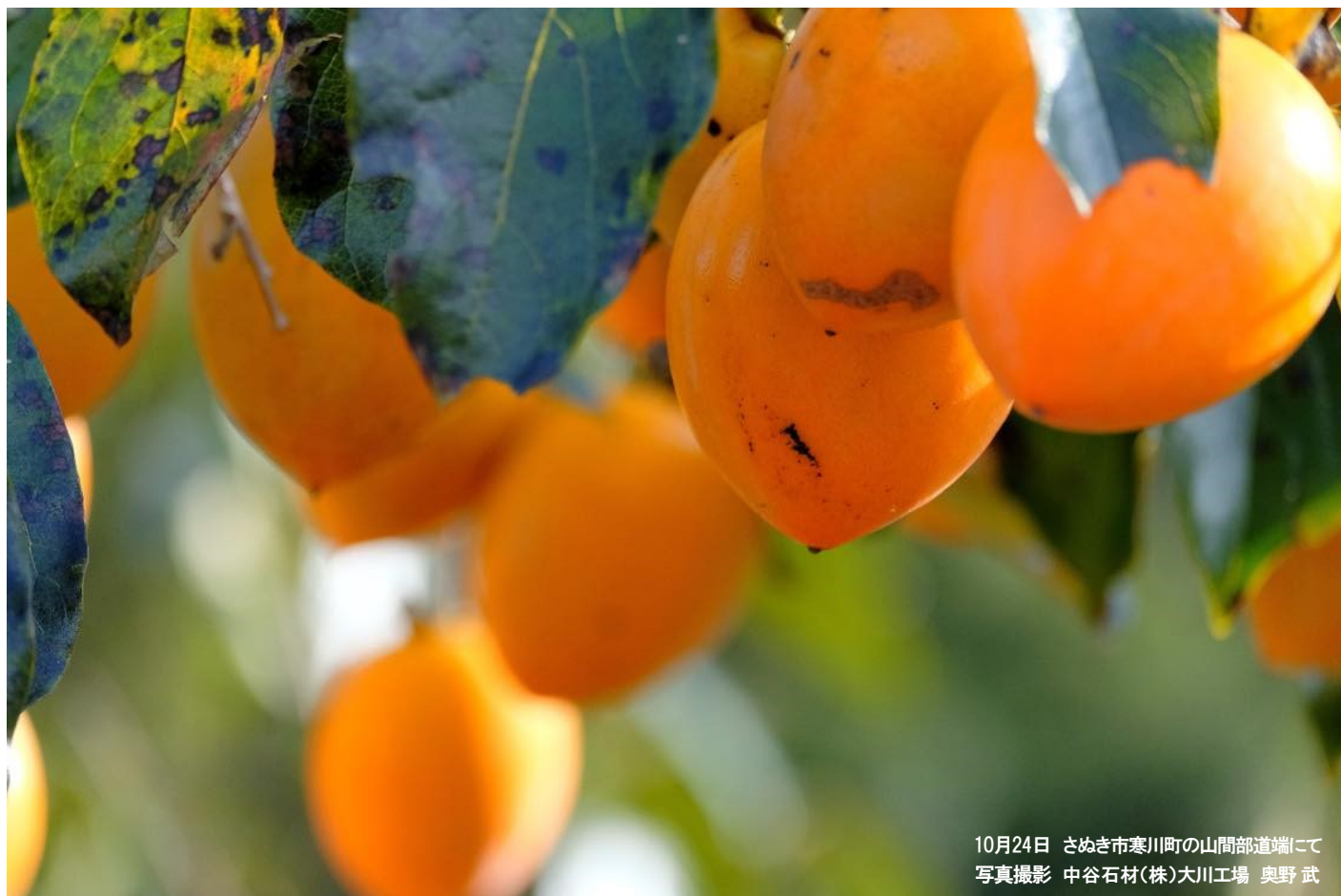


今年も残すところあとひと月。今日までのところ、新型コロナウイルスの感染者数は激減しています。このまま新年を迎えられますように！

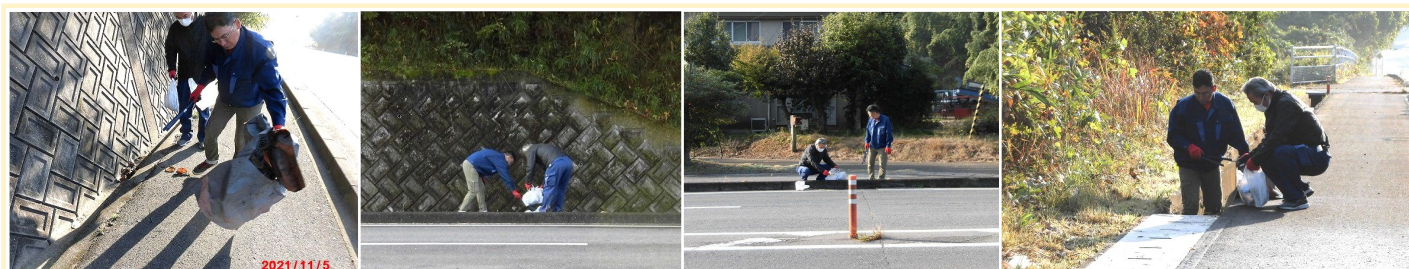
ごけい たより
互恵便り 第9号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



10月24日 さぬき市寒川町の山間部道端にて
写真撮影 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

 季節はこれから、駆け足で冬へと向かいます



環境整備に取り組んでいる当社は、掃除の社外活動も行っています。

大川工場では数年前から朝の環境整備の時間を使って、月に2回、地域のクリーン活動を行っています。

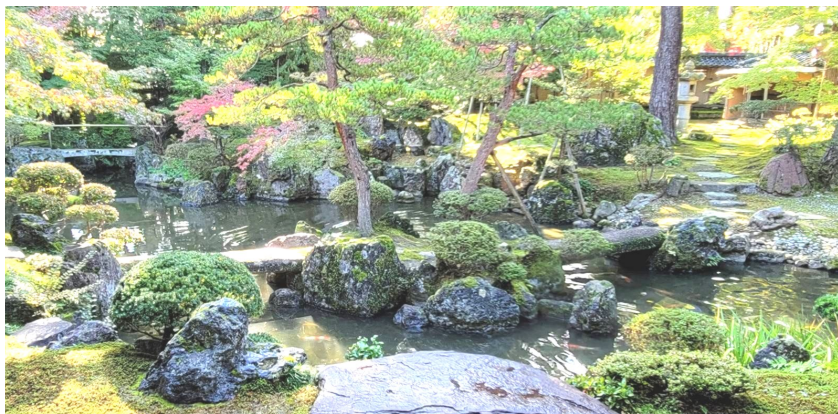
社員や嘱託社員などに関わらず全員参加で、2班に分かれて工場周辺のゴミを拾っています。地域をきれいにすることはもちろん大切ですが、社員のコミュニケーションの時間としても利用して、誰でも気軽に話せる職場作りを目指しています。

また、ゴミ拾いをしながら地域のひととのコミュニケーションを取ることが出来るのも嬉しいことです。作業中に話しかけられる事もあり、「苦労さま」の一言に、やりがいを感じて頑張っています。

これからもみんなで協力して継続出来るように頑張っていきたいと思っています。

大川工場・研磨担当
平木伸昌

NS
私たち
中谷石材は



石を生かした庭造りを学びに 新潟県「にいがた庭園街道」を視察

「庵治石」は優れた耐久性と美しさを兼ね備えた銘石です。当社ではこの庵治石を、墓石に限らず身近な生活の場面でも利用させていただきたいと考えています。そのひとつがお庭です。お客様からいただく「庵治石を使った庭造り」のご相談に、より一層お応えしたい。そんな思いから、社長自ら学びに出かけています。



蔵が枯れることとは「ない」と言われたほど、新潟で『豪農』と言われた家は、桁外れに豊かだったのだそうです。

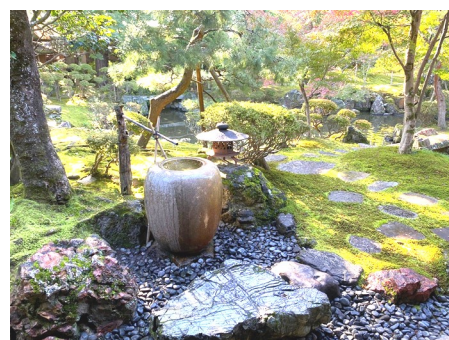
昨年初めて訪れた時にも思ったのですが、この地の元庄屋さんの家のその敷地の広大さと、庭や建物の立派さには本当に驚かされます。新潟には阿賀野川というとても大きな川がありますが、「阿賀野川の水が枯れることとはあつても、**家(豪農さん)の蔵が枯れることとはない」と言

新潟県には、「にいがた庭園街道」と呼ばれるところがあります。新潟県の代表的な日本庭園と、かつての豪農の住まいや寺院、町家などの伝統建築が集中している一帯に、日本の原風景である里山や棚田がある集落地帯を加えた全体をそのように称しています。

街道にあるそれぞれの古き住まいや寺院には、名石が使われているすばらしい庭があります。そういう庭をこの目で確かめる視察は、今回で二度目になります。

お陰さます。10月の後半、新潟県に行ってきました。

銘石が使われた庭を視察してきました



苔も美しかったお庭です。石の姿も美しく、丁寧に手入れされていてとても素晴らしいお庭でした。

屋敷に限らず、庭石もすばらしいものばかり。江戸の大名屋敷が無くなつていくときに移設された石もたくさん置かれていました。愛媛県の青石や京都の鞍馬石などがありません。どちらも昔からよく知られた名石ですが、残念ながら、今回の視察では庵治石を用いた庭には出会いませんでした。

それには理由があります。庵治石は御影(みかげ)石のひとつですが、御影石とは花崗岩(かこう)がんです。硬い石です。平安時代から庵治石が都で使われていたことが分かっていますが、昔は硬い石の加工が難しかったため、用途によっては他の名石が好まれたのでしよう。

加工技術の進展につれ庵治石の用途も多様になり、明治期以降は国の経済発展と共にその需要も増え続け、最上の御影石としての評価が定まりました。

運ぶのも加工するのも、かつてとは比較にならないくらい容易になった今こそ、庵治石の良さを活かしたすばらしい庭づくりが可能だと思えます。

これからの庭造りに 庵治石の魅力を どう引き出していくか

しかし、残念なことに今度は別の課題があります。昔ながらの庭づくりが似合う家が減っているのです。塀もブロック作りが増えていきますし、何より住む人が減って日本中空き家だらけです。

どんな仕事にも「時」というものがあるものですね。それでも、家も庭も無くなつてしまふわけではありませぬ。これからの庭に、庵治石ならではの魅力をどう引き出せるかを探っていきたいと思いつつ、今回の視察から戻ってきました。

社長 中谷明生



日本庭園ならではの池水(ちずい)を施し、四季が感じ取れるお庭です。



■ アマビエプレゼントの発送は、私たち情報管理室(本社)6人が担当しました

ただ、段ボール会社と知り合いのメンバーがいなかったのので、ダメもとで弊社の色々な印刷物をお願いしている印刷会社へ電話すると、「段ボール会社とは取引がありませんので任せてください。」と飛んできてくれました。

**色々な方のご協力を
得て、梱包箱も完成！**

ネット上の色んなサイトで探してみましたが、丁度よい大きさのものがなく困っていたところに、メンバーから「段ボール会社に聞いてみたら？」という案が出ました。

ふと考えると、応募したのは良いがどうやって送ろうかを考えていませんでした。これまでではぶちぶちのクツションで保護してプレートを送ったことはありましたが、それでは味気がないし・・・。

数日後、毎日のように温かいコメントと共に届く応募ハガキに「今日はどんなハガキが届くのだろう。」と楽しみにする日が続きました。



先月号の「アマビエ」プレゼントの応募を開始し



情報管理室一同を代表して
管理室リーダー 渡邊隆志

応募してくださった皆様に無事に届くことを願って、皆で慎重に梱包を進めていきました。応募頂いた皆さん、ご協力を頂いた印刷会社の方、段ボール会社の方、すべての方に心から感謝、感謝です。

**社員一同、心から
感謝申し上げます！**

加工されたこの箱には、メンバーみんなが感動しました！



プチプチで包むよりも断然しつかりとしていて、取り出しもしやすいように

早速プレートと台を見てもらうと、「既製品では難しいですね。ただ一から設計を頼むと、時間も費用もかかります。持ち帰りさせてください。どうか、あたつてみます。」と言つて3日後に持ってきてくれたのが写真の入れ物でした。



特別仕様の箱を組み立ててプレートと台を納めると、ピッタリフィット！情報管理室のメンバー全員で取り組んでいる様子を、先々代社長の写真が見守ってくれているようです～^^



地元・牟礼の石を愛し、庵治石で作品を作る 石屋TATA 太田真介

当地には、庵治石を大切にしながら「石」と共に生きることを生業としている仲間がいます。その一人、この地で生まれ育ち石工となった、「石屋TATA」の太田真介さんに庵治石への思いについてお聞きしました。

庵治石ってどんな石？

庵治石の特徴について

●斑が浮いて綺麗 ●固くて粘り気があり加工しやすい ●給水率が低くて、風化しにくい ●耐久性がよい。

「このような特質がよく挙げられ、庵治石の名を不動のものとしています。」

もちろんこれらは庵治石の魅力的な性質です。でも、地元の石屋の僕個人がこの石に魅力を感じてこだわっている理由は、実は別にあります。

それは、僕の言葉、言つなら、

「地元の石やけん」。そう、庵治石が地元の石だからなんです！

「地元の石やけん！」 僕は、庵治石を使う

生まれ育った街には、たくさん石が転がっており、それが当たり前の光景でした。しかし、色んな街に行つて見て、他にこんな光景を見たことがないと改めて感じたのです。

讃岐の石には平安時代からの歴史がありますが、江戸時代には、

屋島東照宮を作るために庵治石が使われたと、れっきとした歴史が詰まっています。

その屋島東照宮を作り到大阪・和泉から来た職人の太田さんは、その後、牟礼産地に太田姓が広まるその一代目の方で、僕の祖先に当たります。

歴史が伝える 良きものは良きもの

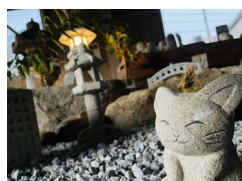
昔から、「良きものは良きもの」と、しつかりと見極められていました。庵治石もそうです。僕は、これが庵治石の魅力だと思えます。そして、そんな歴史・伝統の魅力にとりつかれています。

そんな伝統のある良質な石・庵治石を次世代にも伝え続けたい。これが僕の思いです。

石工 太田真介



「この歴史のある 技術の高い町だからこそ 伝えていかなければいけない。昔は技術の高かった町だったのに、なんて言われることのないように、これからも石の魅力伝えて行けたらと思います。」



石屋TATAギャラリー

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3720-172
TEL. 090 4783 2178

石屋TATAギャラリーは、アキホタタや太田真介の作品を展示しております。工場の近くに展示場とギャラリーを構えたのは、制作風景は工場、作品はギャラリーでと、作品の制作工程を一連の流れで見ていただけるようにしたかったことが始まりです。

アート作品から和燈籠・坪庭。デザイン墓や石あかりなど、“庵治石のテーマパーク”とも感じられるような空間です。ぜひ、TATAブランドを感じに来てください！



【太田真介 自己紹介】

地元香川県立高松商業高校を卒業後、愛知県岡崎市・上新石材店にて4年間弟子入り修行をする。

年季明けて、地元香川県に戻り、両親であるアキホタタに従事し、一緒に仕事を始める。

2年半ほど経つたのちに、アキホタタさんの海外での活躍に刺激され、海外で日本の伝統・燈籠という和の文化を売り込めたいかと、海外に飛び込むとうと、オーストラリアに留学を始める。

語学学校へ通い、英語の勉強から始め、後にオーストラリアの石材店に職人として就職し、技術や信頼関係を得る。

2年半の留学生活を終え、香川に帰郷し、石屋TATAと屋号を改めて、両親から石材店の代替わりをする。

アートと伝統技術のコラボした新しい提案をしたり、技術があるからこそできる、こだわりの作品・製品を作り続けています。

お正月前のご予約はお早めにお願ひいたします！

「草むしり日記」 No.37



草むしり事業部は今月で創業12年目を迎えました。お客様がご自分では思うように出来なくなってきたお庭や墓地の手入れを中心に、ご相談にお応えしてきました。これからも皆様の暮らしに寄り添いながら、お役に立てる事業部であることを目指します。今後とも宜しくお願いいたします！



佐々木 茂綱

TEL: 090-1002-2135

【担当エリア】 さぬき市全域・高松市郷東町・飯田町・鬼無町・香西町・鶴市町・檀紙町・植松町・中山町・国分寺町

リーダーの佐々木です。

皆さま、大変お世話になっております。あつという間に師走を迎え、今年も残すところあとひと月ほどとなりました。毎日一緒に取り組んで来たメンバーと共に、ケガや事故もなく元氣にお正月を迎えられるように、残す年内のお仕事も頑張ります！

庵治石を使って お庭にテーブルと椅子を

今月は、庵治石を使ったお庭作りをご紹介させていただきます。

2年前に、石をふんだんに使ったお庭改修のお仕事をさせていただきました。外壁には石柱を、駐車用スペースには敷石を配置し、人工芝を張り植樹もして仕上げました。

「これでお庭のリフォーム完成！」と、喜んでいただいたお宅でした。そのお客様から、このたび新たな追加注文をいただきました。いや、嬉しかったですね。

「依頼主の岡様は石に関心のあるお客様です。最初の改修工事でも、庵治石を使い貴重な経験をさせてもらった、忘れられない現場でした。」

今回のご注文は、岡様が大好きな庵治石を使ったテーブルと椅子をお庭に配置することでした。

お客様と一緒に楽しく 庭造りができました！

私は中谷石材の石材施工者として、15年以上仕事をさせていただいた経験があります。ですから、このお庭のように石を使っただけの仕事は嬉しいのです。そして、やっぱり庵治石はうつくしい！



庵治石で作った重いテーブルと椅子はユニックを使って搬入しました。

テーブルと椅子の最終的な配置場所は、岡様と相談しながら実際に何度も庭の中に配置してみ決めました。人工芝の敷き直し作業も岡様は私たちと一緒にして下さいました。お客様と一緒に、ご希望に添った庭造りができた楽しいお仕事でした。岡様、ありがとうございました！

チームリーダー 佐々木茂綱

「草むしり日記」No.20 2019年発行より

2年前にご紹介させていただいた写真もご覧下さい。今回さらにお客様が自分の好きな庵治石を使って完成させました！



2019年の お庭リフォームの様子



お庭のリフォーム完成
五月から始まったお庭のリフォームがいよいよ完成いたしました。石をふんだんに使った外壁や駐車用の敷石、中はアオタモの木を植樹して人工芝と植木がきれいに仕上がりました。お客様には長い期間協力いただき貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

2021年現在



今月の社長のコラム

お蔭さまです。

ひと雨ごとに寒さが増して、冬が到来してきたなあと感じています。外仕事をされている方は、朝一番の体の動きの悪いのを実感されていると思います。当社も、採掘場、草むしり、施工等と多くの仲間が外現場で頑張ってくれています。

石材加工は、切削や研磨に水を使います。字彫刻も冷たい石が「相手」ですので、これからの時期は指先が凍えて寒さが身にしみることがあります。こういうときは何よりケガに気をつけなければなりません。仕事は普段から「事故・ケガが無いことが一番」を心がけて、従事してもらっています。

山の事業の安全祈願

去る11月12日、採掘場を管轄する「庵治石開発協同組合」では、山の事業所の安全祈願を執り行いました。

四国最北端の庵治町にあります竹居観音様より、山伏2名に来て頂きました。



この祈願は毎年ではなく、何年か期間を開けて行っています。山の仕事は常に危険と隣り合わせです。山伏による祈願祈禱の折りには、働く方々もあらためて仲間の安全を心して、仕事に向かいます。

た。過去の物故者慰霊塔をはじめ、各事業所(25ヶ所あります)を順次回って丁寧に安全祈願祈禱の祝詞を挙げて頂きました。これに関係者も、気持ちの上で安心感を持たれて仕事に従事できると思います。



またこの日は、牟礼保育園の年長・年中の園児総勢45名が見学に来てくれました。組合まで約2kmある距離を、一時間かけて歩いて来てくれました！トラック、パワーショベルエンジン

ボ、タイヤショベルなど石の仕事をする機械を3台並べて園児たちに見て頂きました。遠くからは見ることはあっても、近くで見える機会はなかなかありません。園児たちも大変喜んでくれました。この地域を支えてきた「石の仕事」に触れて、いつかそれを誇りとしてくれたらというのが、わたしの願いです。

後日には大丁場の採掘場において、北高生徒たちによる「庵治石応援エール」が行われました。また、NHKさんでの取材もあり、全国版で放送予定とのこと。11月は師走を前にして、忙しいひと月を送らせて頂きました。

社長 中谷明生

「NEWS LETTER」vol.23 10月 情報管理室 (in本社)

今月のグルメのコーナー

「笹山さんちのおつまみ」



ずっと行けてなかった釣りに行ってきました！笹山家にもいろいろなおつまみがありましたが、時間と心の余裕ができたに待った遊びの時間でした。

陽射しで海がキラキラして風が心地よくて、「明日からまた頑張つて生きていこう！」と思います。(大げさ笑)

気持ちとは裏腹でほちほちの釣果でしたが、とても楽しい休日になりました。晩ごはんはもちろんだ定番メニューです。ちなみに旦那は伏見さんからいただきました！

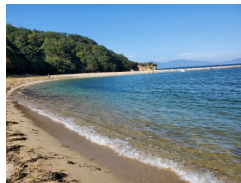
情報管理室 笹山千代



元大町にあったショールームから本社に来て早くも5年。データ入力も正確で速く、自分なりに工夫してチェックもまですてくれます。しっかり者のお姉さんのように見える一方、ユニークな一面もあり、みんなを盛り上げてくれています。

趣味はご主人と一緒に釣る！釣った魚はご主人が捌き笹山さんが調理して、夕食の一品となります。社内報でのおつまみ紹介は、楽しみにしている人も多いんですよ〜

お孫さん達に激甘で、特に一番下のお孫さんにメロメロの笹山さんです♥



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松
電話 087-845-5033

互惠便り 第9号

発行日：令和3年11月27日(土) 発行：中谷石材株式会社 編集：S・ニュースレター